

ダンス・演劇－２

「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

＊ 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■ 基本情報

ジャンル	創造的なダンス(コンテンポラリーダンス) ※創作ダンス・表現運動		
対象となる学年	小学校 全学年 中学校 全学年 特別支援学校 全学年 ※対象ごとに目標設定レベルの違いはありますが、基本となるワークショップの進め方は同じです。		
対象となる科目(例)	体育、その他(総合的な学習、特別活動)		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	1～5回	1回の所要時間	90～100分(2時限分)
実施可能人数	(1回につき)1～2クラス ※3クラス以上の場合は2グループに分けて実施するなど、ご相談いただく事で実施可能です。		
実施団体	NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN) 代表者名 佐東範一 担当者名 神前(こうさき)沙織		
連絡先所在地等	〒600-8092 京都市下京区神明町241 オパス四条503 TEL:075-361-4685 FAX:075-361-6225 Email: jcdn@jcdn.org WEB: www.jcdn-web.org		
団体、講師のプロフィール	2001年京都にて設立。ダンスの持っている力を社会の中で活かし、子供から老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創ることを目的に、全国で活動する。06年国際交流基金地球市民賞。15年京都市芸術振興賞。18年京都市はぐくみ憲章アクション賞(こちかぜキッズダンス)。22年文化庁長官表彰受賞(佐東範一)。 <学校教育、子どもの育成に関わる主な事業> ■学校へのダンスアーティスト派遣、教員対象実技講習会のコーディネート http://jcdn-web.org/project/project-256/ https://cdj.jcdn.org/1320/ ※上記ページより、実施校教員・児童アンケートをダウンロードしていただけます(主な派遣事業例) ◎平成23・27年～令和6年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」 6都道府県計77校 ◎平成24年度～令和6年度 京都府「次世代文化継承・発展事業」計15校 ■学校の先生のための舞踊教育教材「DANCE LEAF(ダンスリーフ)」の開発 http://www.jcdn.org/~danceleaf/ ■「こちかぜキッズダンスー東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた地域力創造プログラム」 https://jcdn-web.org/project/project-261/		

	■創造的なダンスを用いた、児童青少年の自己肯定感向上プロジェクト(2018~) https://jcdn-web.org/project/project-987/ JCDNでは、コンテンポラリーダンスの持つ創造的で自由なダンスの特徴を活かして、特に以下3点の学びを大切にしてコーディネートを行っています。 ●“自分のからだを使って表現する力＝表現力”を養う ダンスは言葉や道具を使わずに、自分自身の身体を使って表現する、第3の言語です。嬉しい、楽しい、寂しい、悲しい、好き、嫌い、など、楽しみながらボキャブラリーを発見していきます。 ●“ゼロから何かを創る力＝創造力”を高める それぞれが工夫をして、自分にしかできないダンスを生み出すことを大事にします。それは、正解も間違いもないことに挑戦するのと同じです。普段の授業の中では見られなかったそれぞれの個性が自然と見られるキッカケになります。 ●“他者との関係性を創る力＝コミュニケーション力”を育む 同じテーマや方法でも、人それぞれの解釈や、いろんな表現があることに気づくと、お互いに他者を認め合う関係性が生まれてきます。他者との違いを認識することで、相手を思いやる気持ちを育みます。
実施可能な 時期(期間)	学校、アーティスト、JCDNのスケジュールが合えば、常時実施可能です。ご相談ください。

■実施内容

対象となる プログラム	体験・合同鑑賞両方
テーマ (タイトル)	【体験】 「表現力・創造力・コミュニケーション力を高めるための創作ダンス」 【鑑賞】 「おもしろふしぎなダンスのせかい」上演 & トーク
趣旨・目標 ねらい	【体験】 全3-5回のワークショップ型授業を通して、“子供たちそれぞれの自発的な動きや表現を引き出すこと”“身体を使って全員でひとつのことに取り組むこと”“身体を通したコミュニケーションを大切にする”ことを実践します。 ●ダンスというと、振付があって習うものというイメージがありますが、コンテンポラリーダンス(創作ダンス)のワークショップでは、それぞれのアーティストのナビゲートにより、子どもたちそれぞれが自分なりのダンス＝動きを創っていく授業になります。 ●狙いは、誰もが豊かな表現力と創造力を持っていることを知ってもらうこと。表現力をつけ、同時にコミュニケーション力を高めること。 ●小学生には、中学生になる前に「ダンスって、面白い」と思える体験を届けること。ゼロから自分で生み出すことができるのだという体験をして、自信を持つこと。同時に他者を認めること。 【鑑賞】 ●いろんなダンスのジャンルの中でも、コンテンポラリーダンスを知ってもらう。 ●第一線で活躍するアーティストのダンス作品の上演を通して、コンテンポラリーダンスの持つ多様性や創造性に触れ、一人ひとり違うことや、広い視野を持つ事の大切さなどを学ぶ。

全体計画 (案)	※【体験】授業のみ3-5回のパターンと、【体験 & 鑑賞】を1回のパターンが考えられます。 ※【鑑賞のみ】1回も不可能ではありませんが、60分の作品上演のテクニカル的な準備が本プログラムでは難しいため、体験またはトークとセットでご紹介する形がより良い学びに結び付くのではないかと考えております。
	【体験のみ】 *アーティストによって方法は様々ですが、基本的に共通の目的のもと実施します。 *1回90分(2時限分)を1コマとして、1回～5回程度の授業を、課題や希望されること、目標に合わせてアレンジします。場合によって、音楽家や美術家も参加可能。 ●「からだで遊ぼう」・・・遊びの中から、誰もが自分の体を使って、自分なりの工夫をしながら動くことを楽しむ。体ほぐしのストレッチを兼ねて。 ●「遊びから創作／個からグループ作業へ」・・・いくつかの簡単なテーマを決めて、一人一人が自分の動きを創り、次にグループでそれをシェアする。いくつかの動きを創っては試してみる。面白がりながら、意識しないうちに動くと、それが振り付けの一部になる。 ●「ショーイング」・・・グループごとに、自分たちの作ったダンスを見せ合う。見せ合った後に、みんながどう思ったのかの感想を言い合う。 ●「みんなで踊ろう」・・・アーティストの動きを真似しながら、全員で踊る楽しさを味わう ※ショーイングを希望されない場合は、心と体を解放するストレッチや、ダンスの創作方法をたくさん紹介しながら、ワークショップをすすめます。
	【体験 & 鑑賞】 ※打合せ(基本1回)、仕込み・リハーサル+本番(連続2日)で実施 ※ダンスのアーティスト+テクニカルスタッフ計4名+コーディネーター1名 ※以下、60～90分の授業のプランですが、鑑賞・体験ともに時間は応相談で、内容は学校の希望に沿ってアレンジします。 ※場所が、劇場仕様のある場所と、体育館とで行える事が異なりますが、いずれでもアレンジして上演可能です。 (5-10分) 挨拶、アーティストの活動紹介など (20分) ダンス作品の上演 小休憩・転換 (30分～60分) ダンスの体験ワークショップ
実施場所	体育館など、ある適度広いスペースで、床に寝転ぶことが出来る場所
講師等	講師:ダンスアーティスト+アシスタント+場合によっては音楽家又は美術家(計2～3人を想定) スタッフ:コーディネーター JCDN 神前沙織、他1人 ※講師は、小中学校でのワークショップ経験と実績から、スケジュールと各地の学校の要望を照らし合わせて決定します。 ※これまでの派遣講師／北村成美・山田珠実・セレノグラフィカ(隅地茉歩・阿比留修一)・モノクロームサーカス・康本雅子・東野祥子・福岡小百合・鈴村英理子、井上信太、他
備考	・必要な備品、設備等【体験】 準備物【体験】:ポータブルスピーカー・マイク、ホワイトボード等 ・その他留意点 派遣アーティストによる学校の先生のための創作ダンスの実技講習を、本プログラムにて(授業日と別に)行うことが出来ますので、ご相談ください。